

事務事業名		飯田産業技術大学事業			会計	一般会計					
課等名		工業課	係等名	工業振興係	事業種別	政策	開始	12	終了		
基本計画上の位置づけ	政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり								
	施策	12	未来を見据えた地域産業の魅力、強み、人材の強化								
目的	対象(誰・何を)	地元企業の従業員及び経営者			対象指標	指標名及び単位			24年度数値		
	意図(どうい状態にするか)	必要な技術及び経営管理能力を習得してもらい、企業の技術力向上と経営改善による体質強化することで、企業規模を拡大してもらいたい。				従業員数(飯伊地域)			15900		
	向上させたい上位施策の成果指標	既存事業者の出荷額(工業)飯田下伊那(億円)				経営者数(飯伊地域)			535		
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	成果指標	受講企業数			110	248	200	250	講座毎述べ企業数に見面		
	定性目標										
事業概要	複数の大学等から講師を招き、地元企業(主に製造業)の従業員、経営者を対象に基礎技術や経営管理能力を学ぶための各種講座を開催する。 平成20年度より情報産業人材育成事業も含め事業展開する。 平成20年度より研究開発の支援も行う。										
事業内容					名称			活動指標			
24年度事業内容	1 大学・支援機関等と連携し、年間を通しての3講座を実施する。 (1)技術講座(初級・中級・上級の3コース) (2)経営講座 (3)企業ニーズに沿った特別講座の開催 (4)飯田技術専門学校や飯田工業高校等と連携し、技能検定講座及び2013年技能五輪に向けた加工実習専門講座の充実 2 工業技術センターと環境技術開発センターと連携し、研究開発の相談及び補助金等の申請手続き支援を行う。 3 協定を結んだ大学及び事業を行っている大学との定期的な情報交換 信州大学工学部				1 延べ受講者数 2 開講講座(回数) 3 産学官技術交流会の開催(回数) 4 大学への訪問回数			1 1,147人 2 46講座 3 1回 4 1回			
	事業コスト					23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足	
	事業費計(千円)①		2,850	2,651	2,651	2,700					
国庫支出金											
県支出金											
起債											
その他											
一般財源		2,850	2,651	2,651	2,700						
人件費計(千円)②		4,114		3,576							
正規職員所要時間		1,000		1,000							
臨時職員所要時間		500									
総事業費①+②		6,964	2,651	6,227	2,700						
事業内容・目標達成状況の振り返り	技術講座、経営講座、特別講座を実施しました。特に、技術講座では、飯田技術専門校の汎用機械を有効活用し、外部講師による実践的な研修を行うことが出来た。企業の飯田産業技術大学の認知度も高まり、受講企業数も増えた。										
改革改善の考え方	①問題点	講座により参加者数にバラツキがあり、講座内容について再構築する必要がある。									
	②改革提案	参加者アンケートだけでなく、企業ニーズ等のヒアリングを実施して、講座内容や開催時間帯等の要望を把握し、事業運営に反映していきたい。H25年度よりEMCシンポジウム事業を統合し、効率の良い事業運営に努める。									